

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

羽生市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県羽生市

3 地域再生計画の区域

埼玉県羽生市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、平成12年の57,499人をピークに減少しており、54,730人（羽生市住民基本台帳令和元年10月1日現在）まで落ち込んでいる。国立社会法人・人口問題研究所によると、令和22年には44,000人まで減少すると推計されている。平成27年度から令和元年度にかけては、各年度261人から390人の範囲で出生数が死亡数を下回っており、継続的に自然減少が続いている状況である。また、高齢化率は令和元年10月1日現在で29%を超えてきており、今後も増加する見込みである。更に、人口の社会増減は、平成27年から平成30年までは77人から213人の転入超過であったが、令和元年から29人の転出超過に転じている。

人口減少や高齢化が進展すると、次のような影響が懸念される。

- ①生産年齢人口の減少は、賃金収入・消費・生産の減少、税収の減少につながる。
- ②高齢者人口の増加は相対的にゆるやかで少ないが、地域活動の衰退や医療・福祉・介護など行政需要の増加の影響がある。
- ③若い女性の数が少なく、未婚率が上昇し、合計特殊出生率が低いことは出生数の減少につながり、長期的に生産年齢人口の減少になる。
- ④総人口の減少は、空き家・空き地の発生などの住宅・都市環境の悪化、消費の減少による市内経済の縮小、地域の支えあいが困難となる。
- ⑤良質な働く場、住む場所の確保による人口の社会増が実現できれば、生産年齢人口、出生数の減少に歯止めがかけられる。人口構成のゆがみが相対的に少ないので

対策をとる時間的な余裕があるが、低出生数については将来への影響が大きいため、改善を急ぐ必要がある。

【基本目標】

これらの課題に対応するため、次の基本目標を掲げ、定住の促進や若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、地域の特性に即した地域課題の解決、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指す。

- ・基本目標 1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
- ・基本目標 2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する
- ・基本目標 3 時代に合った地域をつくる
- ・基本目標 4 地域資源を生かし、ブランド力を高める

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和6年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	企業立地件数	3社	15社	基本目標 1
ア	新規農業参入者数	1経営体	15経営体	基本目標 1
ア	市内従業員数	23,303人	24,000人	基本目標 1
イ	合計特殊出生率	1.3人	1.7人	基本目標 2
イ	出生時から就学時への 人口動態	40人 過去5年間の平均	50人 計画期間内の平均	基本目標 2
ウ	健康寿命	(男) 17.45 (女) 20.40	(男) 17.5 (女) 21.0	基本目標 3
ウ	羽生市に定住意向のあ る市民の割合(新規)	-	70%	基本目標 3
エ	ふるさと納税の寄附 人数(年)	2,000人	4,000人	基本目標 4
エ	観光交流人口	70万人	100万人	基本目標 4

エ	人口の社会増加数（ 累計）	138人 過去3年間の平均	750 (R2～R6) 期間内の累計	基本目標4
---	------------------	------------------	--------------------------	-------

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

羽生市まち・ひと・しごと創生推進計画

ア しごとをつくり、安心して働けるようにする

イ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する

ウ 時代に合った地域をつくる

エ 地域資源を生かし、ブランド力を高める

② 事業の内容

ア しごとをつくり、安心して働けるようにする

職住近接による新たな雇用の創出に努める事業

【具体的な事業】

・岩瀬地区における産業用地の整備事業

・スマート農業の推進

・NEXT 商店街プロジェクトによる空き店舗活用事業 等

イ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する

市民の結婚・出産・子育ての環境を整え、かつ、特色ある教育環境を提供し、合計特殊出生率を向上させる事業

【具体的な事業】

・結婚相談会事業

- ・子育て世代包括支援センター事業
 - ・ICTを活用した教育の推進
- 等

ウ 時代に合った地域をつくる

地域での健康づくりや安全で安心なまちづくり、住環境の整備を図り、転入の加速と地域力を向上させる事業

【具体的な事業】

- ・産学官連携による健康イベント等の開催
 - ・防災備蓄の推進
 - ・地域公共交通サービスの充実
 - ・優良住宅地としての都市基盤整備の推進
- 等

エ 地域資源を生かし、ブランド力を高める

地域資源を生かし、定住、観光のほか、関係人口の増加につながる事業

【具体的な事業】

- ・ムジナモの活用
 - ・世界キャラクターさみっと in 羽生開催事業
 - ・移住、定住のPR事業
- 等

※なお詳細は第2次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

150,000 千円

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月頃に羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定や推進にあたり、外部有識者などの意見を徴する機関である「羽生市まち・ひと・しごと創生市民会議」において意見を求め、事業の検証などを審議し、その後、市のホームページに掲載することにより公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から令和7年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画認定の日から令和7年3月31日まで